

4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

重点目標	具体的目標	自己評価結果 (成果と課題)	令和3年度	
			評定	学校運営協議会委員意見等
1 一人一人の力を伸ばすための授業力向上、学力向上 <知育> 	1 基礎・基本の確実な充実と自分の考えをもつるようにするための指導を行うことを図る等伝え合う力を高める授業・活動を実践する。 2 指導と評価の一一体化や朝の活動の工夫等個に応じた指導・複式指導を充実する。 3 読書指導や読む力・ICTリテラシー育成等読書活動の推進及びICTの活用を図る。 4 家庭学習の手引きや家庭学習の6つのポイントを活用する等家庭学習の習慣化を図る。	○低・中・高学年での学び合いの姿を明確にしたことにより、各学級で実践を重ねることで、伝え合う力を伸ばすことができた。 ●深い学びにつなげるために、更なる授業改善が必要である。 ○めあてとまとめて整合性をしっかりと定めたことにより、授業のねらいが明確になり、分かれる授業の展開ができた。 ●ICTの活用やワークシートの工夫等、個に応じた指導を更に図る必要がある。 ○読書ノートの活用や図書館サポーターとの連携により、個人の読書量に関する目標達成に向けて取り組むことができた。 ○ICT機器については、研修を積んだり、児童に日常的に活用させたりしたこと、意欲的に使えるようになった。 ○年度当初の参観日に保護者に配付し共通理解した、さらにその後の参観日懇談等で説明することで家庭学習の充実を図ることができた。 ●学級活動や朝の会・帰りの会等で、日々児童の意識を継続させる手立てが必要である。	3	○ 本を読ませるために、いろいろな工夫をされて大変すばらしいと思う。また、図書館サポータも配置され、本を読ませる環境づくりにも努めている。 ○ 複式授業を見学し、先生の指導の様子や子どもたちの様子を見て感心した。 ○ 図書室の充実した本の並べ方を見て、子どもたちも選びやすく、借りやすそうだった。 ○ パソコン授業も、1人1台のタブレットで小さい頃からPCに触れて時代に合っていると思った。 ○ 読書に関する、くれよん号の来校がとても良いと思う。子どもたちがいろいろな本に巡り会える機会をつくっていただき、また、地域の方々への案内もしてもらいたい。 ○ パソコンを使用しての学習は、これから勉学にとても役立つものと思う。子どもたちが使いこなしているのに感心させられた。 ○ コロナ禍での先生方の学力向上のための取組は、大変だったと思う。全国へき地教育研究大会宮崎大会も行われて、無事に終わったとの報告を受けて良かった。 ○ 個人の読書量も目標達成に向けて取り組んでいるとのこと、このまま継続してほしい。
2 思いやりと粘り強さをもつ豊かな心の育成 <徳育> 	1 体験活動の実践や特別の教科道徳科の指導の充実、安全教育の実践等道徳教育・人権教育・特別支援教育を充実する。 2 積極的な生徒指導の徹底や全員員の全児童への指導等規範意識を育成する。 3 集団登校時や学校生活での指導の場の工夫により、挨拶・返事の習慣化を図る。 4 授業を通して、あるいは家庭と連携しながら等少しのことでへこたれない粘り強い心を育成する。	○稻作体験活動や一人一鉢運動等授業や行事等を通して、指導の充実を図った。 ●コロナ禍のために、計画していた学習を進めることができなかった。本年度できなかつたところは、次年度円滑に進められるように今後準備していかたい。 ○全員員で、全児童への指導に当たつことで、不登校0を達成できた。また、いじめ0も達成できた。 ●一人一人を見ると、規範意識や思いやりの気持ち、自立について十分育っていない児童も見受けられるので、今後もじっくり指導を継続することが必要である。 ○登校会での指導や朝の常時的なあいさつ指導により、進んであいさつできる児童が増えた。 ●あいさつ日本一になるように、今後も指導や意識の高揚を図りたい。 ○持久走で最後まで走りきる姿や決められた掃除を最後までやり遂げる等、授業や諸活動を通して粘り強く頑張る心を育成することができた。 ●個人差が見られるので、個に応じた指導の工夫を図る必要がある。	3	○ 豊かな心の育成ができるていると思う。相手の気持ちを考えて行動できるようになっている。また、地域の皆様の協力のおかげで、稲刈りなどの体験活動が実施できており、とてもありがたい。 ○ 稲作体験は、コロナの影響で田んぼでの実践活動が大変なときもあったが、最後の収穫祭までできてよかった。今後も子どもたちの学校活動の記憶、想い出に残る行事として取り組んでもらいたい。 ○ 学校田での稻作体験は、親も家ではあまり経験ない中で、地域と一緒に体験できることは、子どもたちにとって、すばらしいことであると思う。 ○ 見守りの時や家の前で子どもたちと話をしますが、元気がよく、挨拶もしてくれる。 ○ 登下校の時、元気よく挨拶をしてくれる。 ○ いじめ等なく楽しく過ごせる学校生活を送っていること、とてもありがたい。 ○ コロナ禍で、持久走の見学ができず、とても残念だった。 ○ コロナ禍で計画していた学習等が進められなかつたことは残念だった。次年度は、計画通りに進められることを願いたい。 ○ 不登校0、いじめ0とのことで良かった。 ○ 登校時の挨拶は良くできていると思う。
3 命と健康を守るための自己管理能力の育成と体力向上 <体育> 	1 食育の推進や歯の治療率100%・欠席0の日150日を目指した保健指導等を行い、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の定着を図る。 2 立腰体操及び立腰の日の実施等立腰指導を徹底する。 3 体育授業の指導の工夫や児童が主体的に運動に取り組むための指導等体力向上に向けた体育指導の充実を図る。 4 安全教育の推進と安全な環境づくりの実施等安全指導の徹底とが・事故の防止を図る。	○栄養教諭との連携(授業)ができた。 ●学期に1回生活リズムがんばり週間を設けて取り組んだことで、欠席0の意識が継続した。 ●保健室の治療本アップについて、家庭への啓発を継続して行う。 ●欠席0の日は1月18日現在121日。児童の意識の継続を図ることで、目標を達成したい。 ○立腰体操は、毎朝実施できた。また、立腰指導の日も実施できたので、体幹はますます鍛えられた。 ●意識の継続について、個人への指導が必要である。 ○体育の授業の共通指導事項を示して各学級で指導してもらった。 ○5分間を毎時間取り入れたことで、持久走大会では全員完走しタイムも伸びている児童が多くなった。 ●体力テストで落ち込んだ項目(柔軟性)の引き上げを図る必要がある。 ○安全点検を実施して、その都度修繕したことで、校内の事故を防ぐことができた。 ●撤去予定の物を撤去してもらう。(子どもとの安全な生活のために)	4	○ 食育について、家庭にも教えてもらえるので、わたしたちも勉強になり、学ばせてもらっている。 ○ 欠席0の日が継続できているのはすばらしい。学校と家庭で共通した認識で取り組み、まだ間に記録を伸ばしてほしい。 ○ 子どもたちの体力が低下しないように体育授業を充実し、健康な体づくりに一層がんばってほしい。 ○ すばらしい取組である。 ○ 個人差はあると思うが、先生方の指導が良かったとの子どもたちの努力がすばらしい。 ○ 全員で同じ目標に向かって進む行動はすばらしいと思う。 ○ 立腰体操の実施によっていろいろな結果が得られ、良かったと思う。これからも続けてほしい。 ○ 保育園は遊びが基本ですので、その中で、剣玉は体幹を鍛える。遊びながら体や心を鍛え、成長することを願っている。オリンピック柔道選手も体幹を鍛えるために剣玉をしていたようだ。学校でも学級の隣に2つでも置いて、休み時間にでもできるように配置してもらえると、リラックスしながら鍛えることもできるのかなと思う。 ○ 欠席0の取組、目標達成して継続してほしい。 ○ 先生方の指導の取組で、少しでも体力向上ができるいるとのことで良かったと思う。
4 家庭・地域との連携 	1 学校運営協議会や各地区公民館、家庭との連携及び高崎地区小中一貫教育の推進を図る。 2 学校便りやホームページ、参観日・オープンスクール等による情報発信をする。	○コロナ禍の中ではあったが、学校運営協議会委員や保護者、地域の方に学校の学習や行事等を少しでも知らせて顶くことができた。 ●コロナ禍で地域支援のタイミングを逸したと転がつたので、先を見通した計画を立てる必要があった。 ○参観日は、予定通り進めることができた。学校運営協議会や家庭教育学級は、実施期日を変更した会もあったが、滞りなく実施することができた。 ●ホームページの情報発信はできたが、情報発信の在り方を工夫する必要があった。	4	○ PTA(保護者)にも、学校運営協議会の活動について情報発信した方が良いと思う。 ○ コロナの影響で、学校も地域の行事等ができなかったが、その中でも、変更しながら実施したことは良かったと思う。今後もリモートによる学習や会議等も検討したらと思う。 ○ コロナ禍で学校、地域の連携ができなかつたことが残念である。 ○ コロナ禍では、以前より学校行事等参加できなくて残念です。学校運営協議会でいろいろな報告をしてもらい、地域とのつながりもできていると思う。 ○ 初めての協議会参加で、小学校の動きがよく分かった。小学校のホームページもぜひ見たいと思う。このように隣同士あるありがたい環境を良い方向に進めていきたい。共通理解も含めて國の便りも月から届けたいと思う。 ○ コロナ禍での授業参観では、子どもたちの授業の取組がはっきり見えてすごく良かった。